

平成26年度の試験研究課題について

本県では、日高地域を中心に冬季温暖な気候を生かした野菜や花の集約的な栽培が発展してきました。しかし、近年は、輸入農産物との競合に加えて、燃油や資材などの高騰で収益が低下しています。また、地域の全体的な高齢化や就農者の減少で農産物の生産環境は悪化し、生産量や生産性の低下が顕著になり始めています。

当センターでは意欲のある生産者が経営規模を拡大できるよう、省力・省エネで生産性の高い技術や付加価値の高いオリジナル品種の開発に力を入れたいと考えています。

また、地域を守り、これからも農業を続けていただきたい高齢の方、家族や経験の浅い手伝いの方々も対象にした、安全で楽に栽培できる技術や新品種も必要と思っています。

若い人達もたくさん地域に住み、農業でも活躍してもらおう仕組み作りは、行政や地域の取組が中心ですが、試験研究部門からも技術開発などで協力したいと考えています。

【課題名および試験研究項目】

- ◎スターチス新品種の育成
 - ・ブルー、ピンク系新品種の育成
(現地評価試験、品種登録出願試験)
- ◎スターチスの新電照栽培技術の開発
 - ・新光源を用いた増収技術の開発

(開発技術の組み立て現地実証試験)

- ◎特産花き・野菜のオリジナル品種育成
 - ・実エンドウの短節間品種の育成
 - ・イオンビーム照射による新品種開発
- ◎エンドウの長期安定増収技術の開発
 - ・安定同位体を利用した同化産物の動態解明
 - ・増収のための着莢数決定要因の解明
- ◎高糖度ミニトマトの安定生産技術の開発
 - ・高糖度完熟出荷に適した耐病性品種選定
 - ・施設栽培での冬春期の裂果低減技術
- ◎施設野菜花きの省エネルギー技術の開発
 - ・新断熱資材の選定と保温性向上技術
 - ・局所加温による省エネ栽培技術
- ◎省エネ光源利用による特産花きの最適電照技術開発
 - ・共同研究 (シュッコンカスミソウ担当)

(所長 吉本 均)

お知らせ

人事異動 (平成26年4月1日付け)

転入 新職名	氏名	旧所属名
園芸部長	宇治 泰博	農業大学校
育種部長	上山 茂文	果樹園芸課
転出 旧職名	氏名	新所属名
園芸部長	楠 茂樹	海草振興局農業振興課
研究員	松本比呂起	日高振興局農業振興課
場内異動 旧職名	氏名	新職名
副所長兼育種部長	藤岡 唯志	副所長



暖地園芸センタースタッフ
(平成26年5月)

和歌山県農業試験場

暖地園芸センターニュース No.45

平成26年7月発行

編集・発行 和歌山県農業試験場暖地園芸センター
〒644-0024 和歌山県御坊市塩屋町南塩屋724
TEL 0738-23-4005
FAX 0738-22-6903

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070109/gaiyou/003/003.htm>

(この印刷物は再生紙を使用しております)